**NPT3 セミナー演習資料**

**【Ｓ．５　妥当性確認プロセス】**

**検討事項**

　皆さんはアセスメントチームの一員として、妥当性確認プロセスの実践状況を調査した結果、下記のような状況が判明したとします。

　この状況に対し、”演習で取り上げるアセスメントモデル”に記載したプラクティスが効果的に実践されていると判断してよいでしょうか？

　適切な判断を行うとしたら、どのような点から追加の現状把握をすべきかを検討してください。

**【プラクティスの実践状況】**

　　プロジェクトでは、設計の妥当性確認を設計書の顧客レビューにて実施している。

　　顧客レビュー結果については、毎回レビュー記録を作成し、承認を得ている。

妥当性確認プロセスの目的は、ソフトウェア作業生産物の明確に意図された利用についての要求事項が満たされていることを確認することである。

ＧＰ１．１．３　ＢＰ６

妥当性確認の結果、開発された作業成果物が、意図された利用について適当であることの証拠を確認している

